

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	林産物利用	単位数	3	学年・学科	3学年・E科
教科書	文部科学省著作教科書「林産物利用」		副教材				

学習目標	林産物利用が果たす社会的な意義や役割、木材や特用林産物の利用方法など、林産物の現状や今日的課題について取り上げ、実際に林産物の加工や利用を体験することで、林産物利用に対する意欲を醸成することを目標とします。
学習方法	林産物の利用に関するプロジェクト学習による体験的な制作活動と、観察、実験、調査、記録などの学習活動を通じて木材の特性や環境の相互関係などの基本を理解するとともに、技術の習熟を図る日線的な生産活動を行います。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	60%	40%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	木材の識別・特性・加工、キノコの生育条件、各種特用生産物の収穫方法と活用の仕方が分かる。また、木材、つるの採取や取り扱いの基本が分かる。シイタケを初めとするキノコ栽培ができる。	前期中間	知識・技能(技術)	50%	30%	20%
				思考・判断・表現	25%	15%	10%
				主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%
					100%	60%	40%
			前期末	知識・技能(技術)	50%	30%	20%
				思考・判断・表現	25%	15%	10%
		主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%		
			100%	60%	40%		
	b 思考・判断・表現	森林生産物の利用と環境問題との関わりについて科学的、論理的に考えることができる。	後期中間	知識・技能(技術)	50%	30%	20%
				思考・判断・表現	25%	15%	10%
				主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%
					100%	60%	40%
後期末			知識・技能(技術)	50%	30%	20%	
			思考・判断・表現	25%	15%	10%	
	主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%			
		100%	60%	40%			
c 主体的に学習に取り組む態度	森林の生産物に興味関心を持ち、よく観察している。	後期末	知識・技能(技術)	50%	30%	20%	
			思考・判断・表現	25%	15%	10%	
			主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%	
				100%	60%	40%	
		後期末	知識・技能(技術)	50%	30%	20%	
			思考・判断・表現	25%	15%	10%	
	主体的に学習に取り組む態度	25%	15%	10%			
		100%	60%	40%			

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第6章 特用林産物の生産と加工 (1)きのこの生産と加工	①シイタケ・ナメコ栽培(きのこの植菌、仮伏せと収穫)を学習します。 ②山菜の採取、利用をします。 ③山菜の増殖について学習します。	○	○	○	a: 特用林産物の生産と加工について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 b: 特用林産物の生産と加工について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができること。 c: 特用林産物の生産と加工について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む事ができる。	・授業ノート ・課題 ・定期考査
前期末	第6章 特用林産物の生産と加工 (1)きのこの生産と加工 ・キノコの菌床栽培 (2)木炭及び薪の生産と利用 (3)その他の特用林産物	①ヒラタケ・マイタケ等の菌床栽培を学習します。 ②岩手県の特産である木炭の製造等について現地見学を踏まえ学習します。	○	○	○	a: 特用林産物の生産と加工について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 b: 特用林産物の生産と加工について課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができること。 c: 特用林産物の生産と加工について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む事ができる。	・授業ノート ・課題 ・定期考査
後期中間	第2章 循環資源としての木材 (1)木材の性質 (2)木材の用途 (3)循環資源と環境	①木材の性質について学習します。 ②木材の用途について学習します。 ③循環資源と環境について学習します。	○	○	○	a: 循環資源としての木材について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 b: 循環資源としての木材に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができること。 c: 循環資源としての木材について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む事ができる。	・授業ノート ・課題 ・定期考査
後期末	第4章 製材・加工と木工 (1)製材・加工 (2)木工 (3)安全・衛生	①製材と加工について学習します。 ②木工について学習します。 ③安全衛生について学習します。	○	○	○	a: 製材・加工と木工について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 b: 製材・加工と木工に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決することができること。 c: 製材・加工と木工について身近な事例を自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む事ができる。	・授業ノート ・課題 ・定期考査